

# 守山企業景況調査報告書

(第24回)

平成27年7月～平成27年9月期 実績

平成27年10月～平成27年12月期 見通し

# 守山企業景況調査について

(平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月期)

## 1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 71 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

## 2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	20	13	65.0%
製造業	13	12	92.3%
建設業	12	10	83.3%
サービス業	20	18	90.0%
卸売業	6	6	100.0%
合計	71	59	83.1%

## 3. 調査期間

調査期間は、実績を平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月、見通しを平成 27 年 10 月～平成 27 年 12 月とし、調査時点は平成 27 年 10 月 30 日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指標として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」の DI 指数は 3 カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

## 調査の概要

平成 27 年 7 月～9 月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果は DI 指数（景気動向指数）を用いて示している。

DI は、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DI が±0 の状態であれば、「増加」「好転」等の企業割合と「減少」「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆に DI がマイナスの数値であれば、「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

平成 27 年 7 月～9 月期の調査結果では、売上高を除いた業況、採算、資金繰りの主要 3 指標で前回調査より数値が上昇した。

### <業況>

業況 DI は▲13.8 で前回調査の▲18.5 から 4.7 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲16.7（前回調査比▲6.2）、製造業 0.0（前回調査比 0.0）、建設業 10.0（前回調査比 +10.0）、サービス業▲38.9（前回調査比+5.5）、卸売業 0.0（前回調査比+33.3）とサービス業、卸売業が上昇した。

7 月～9 月期見通しは全体で▲20.4 であり、見通しは明るくない。

### <売上高>

売上高 DI は▲16.9 で前回調査より 3.1 ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.1（前回調査比+3.2）、製造業▲16.7（前回調査比▲56.7）、建設業 10.0（前回調査比 +1.7）、サービス業▲27.8（前回調査比+11.1）、卸売業▲16.7（前回調査比+16.6）であり、製造業の低下が目立つ。

7 月～9 月期見通しは全体で▲10.2 となっており、今回実績に比べて 6.7 ポイントの上昇となっている。

### <採算（経常利益）>

採算（経常利益）DI は▲15.8 で前回調査より 15.0 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲38.5（前回調査比+8.9）、製造業▲9.1（前回調査比 0.0）、建設業 11.1（前回調査比+19.4）、サービス業▲22.2（前回調査比+19.0）、卸売業 0.0（前回調査比+33.3）で建設業、サービス業と卸売業が大きく上昇している。

7 月～9 月期見通しは全体で▲16.9 であり、今回調査実績より 1.1 ポイント下向いている。

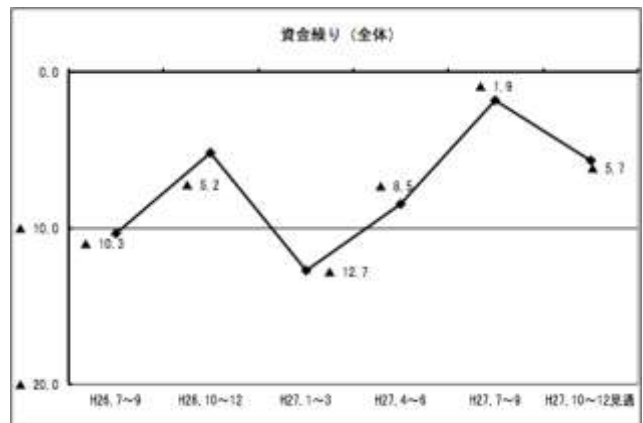
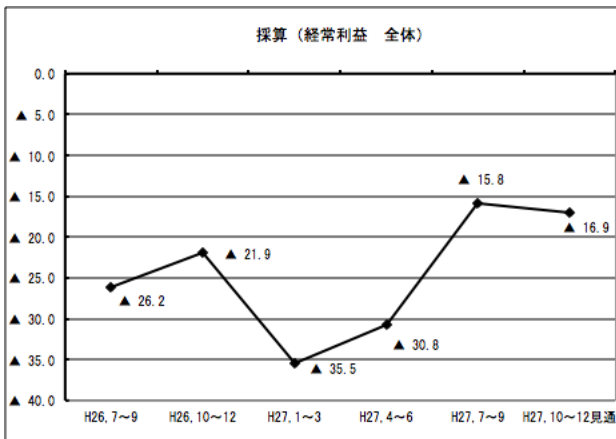
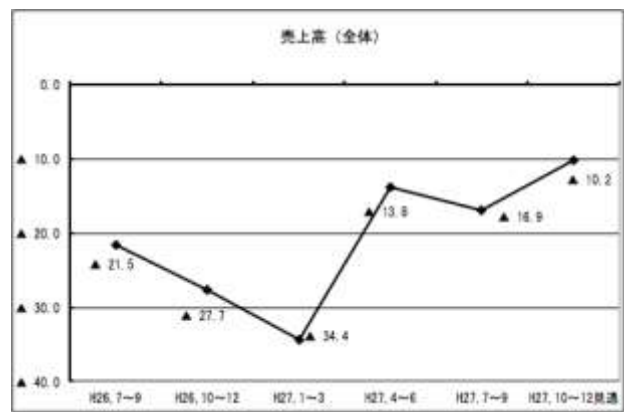
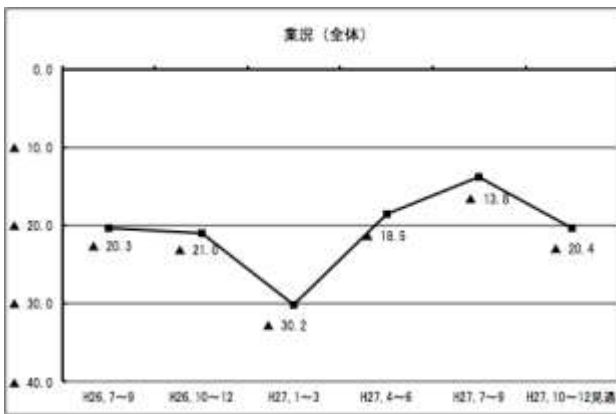
### <資金繰り>

資金繰り DI は▲1.9 で前回調査より 6.6 ポイント上昇した。業種別では小売業▲8.3（前回調査比+13.9）、製造業 10.0（前回調査比+10.0）、建設業 10.0（前回調査比 +10.0）、サービス業▲12.5（前回調査比▲5.8）、卸売業 0.0（前回調査比±0.0）であった。

7 月～9 月期見通しは全体で▲5.7 であり、今回調査実績より 3.8 ポイント悪化となっている。

<その他の意見>

- ・仕入れるたびに単価が上昇しているようで売れ行きは芳しくないのに・・・と困ってしまう状況です。
- ・富が偏在して国民の半数以上が貧困になる。ますます物が売れない時代が来る。自分が買いたい物しか買わない社会は文化国家とは言えない。



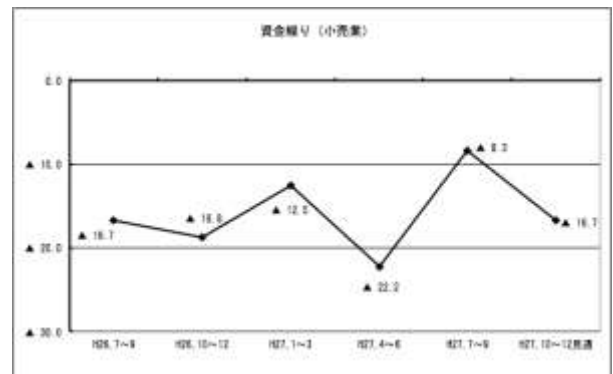
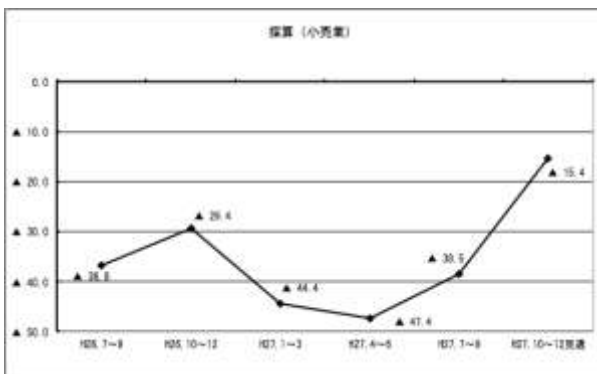
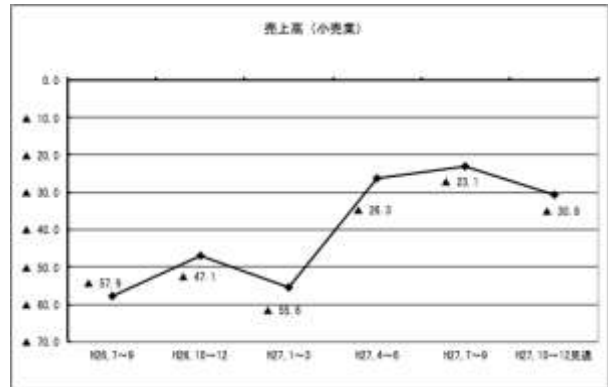
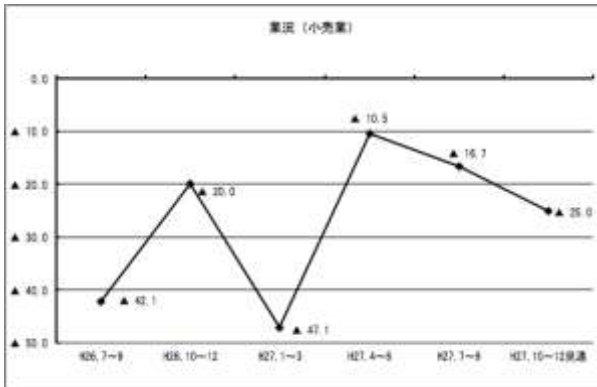
## 小売業

小売業の業況DIは▲16.7で前回調査より6.2ポイント低下した。2四半期連続の低下である。とは言うものの、低下の幅は6.2ポイントと小さく、▲42.1の1年前に比べるとかなり回復している。10月～12月期見込みは▲25.0とさらに低下しており、徐々に下がっていくと見込まれている。

売上高DIは▲23.1で前回調査より3.2ポイント上昇した。売り上げは2四半期連続の上昇である。1年前が▲57.9という低い数値であったことを考えると売り上げも回復基調であると言える。10月～12月期見通しは▲30.8で反作用的に売上高は低下すると見込まれている。

採算DIは▲38.5で前回調査より8.9ポイント上昇している。1年前の▲36.8と同等の水準である。過去1年を見ると平成27年に入って▲44.4、▲47.4と▲40以下が続いていたので採算はこれでも戻った形になっている。10月～12月期見通しは▲15.4と今回調査よりも上昇している。

資金繰りDIは▲8.3で前回調査より13.9ポイント上昇した。前回調査が▲22.2と過去1年の中で最低であったが、今回調査は逆に過去1年で最高の数値になった。10月～12月期見通しは▲16.7で資金繰りの見通しは明るくない。



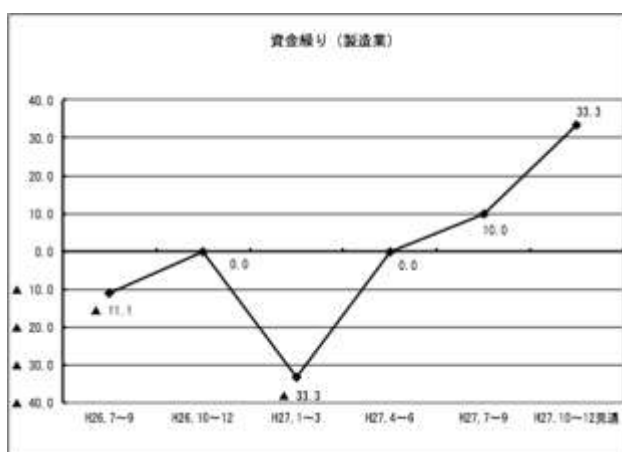
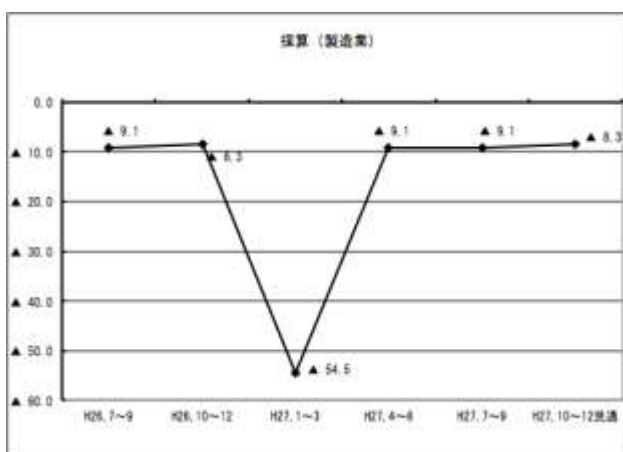
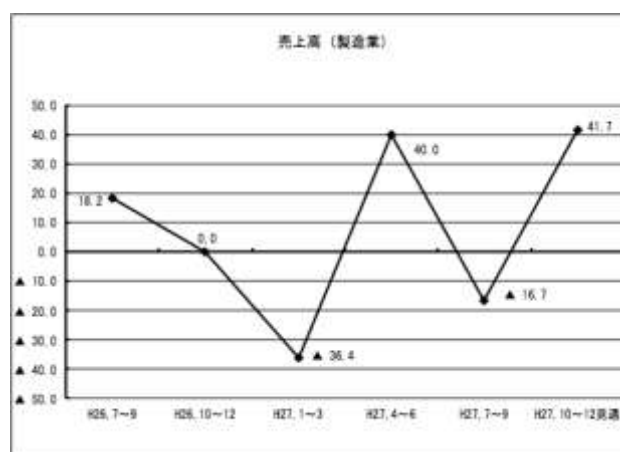
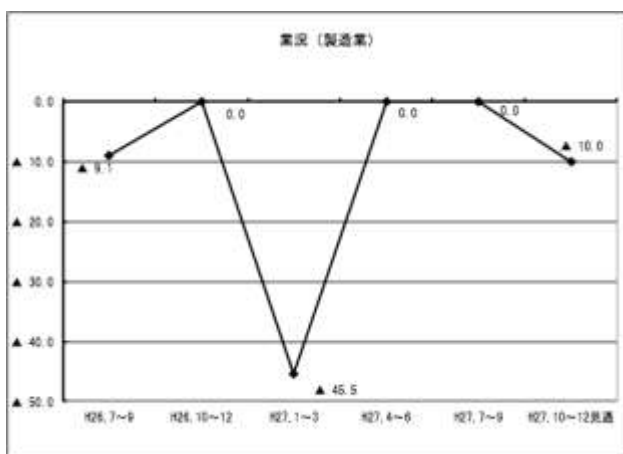
## 製造業

製造業の業況DIは0.0と前回調査と同じであった。製造業の業況はここ1年間平成27年1月～3月期の▲45.5を除けば0.0付近で推移しており今回調査も同様の結果となった。10月～12月期見通しは▲10.0で少し低下の見込みである。

売上高DIは▲16.7と前回調査に比べて▲56.7と大幅な低下となった。過去1年を見ると前回調査の40.0が突出して良い数字であるのでその反動が出たのかもしれない。10月～12月期の見通しは41.7と再び大きく上昇しており今回調査時点は調整の意味合いがあるとも考えられる。

採算DIは▲9.1で前回調査と同じであった。採算は平成27年1月～3月期が▲54.5と極端に悪く、その前後は概ね▲10程度で数値しているのので、今回調査もその流れが続いたと言える。10月～12月期見通しは▲8.3であり、今回調査の流れと同じである。

資金繰りDIは10.0と前回調査より10.0ポイント上昇した。資金繰りも平成27年1月～3月期が▲33.3と過去1年で極端に低くその前後は比較的安定しており今回調査も同様である。10月～12月期見通しは33.3となっており、資金繰りは良くなりそうである。



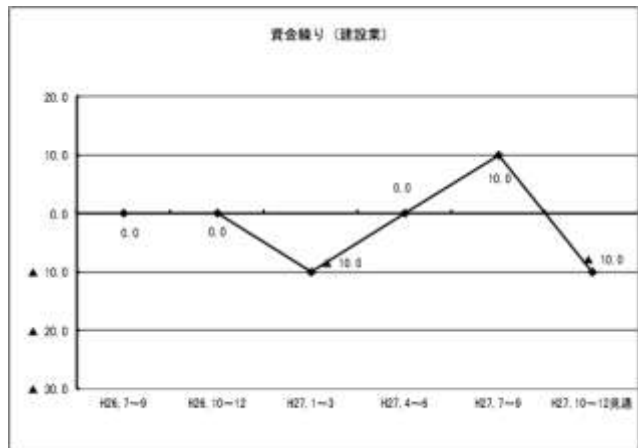
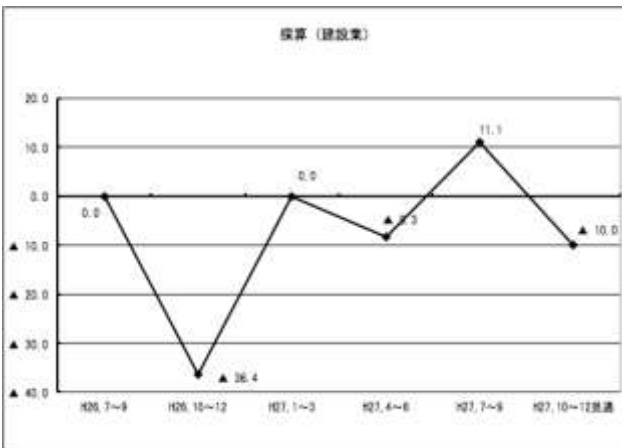
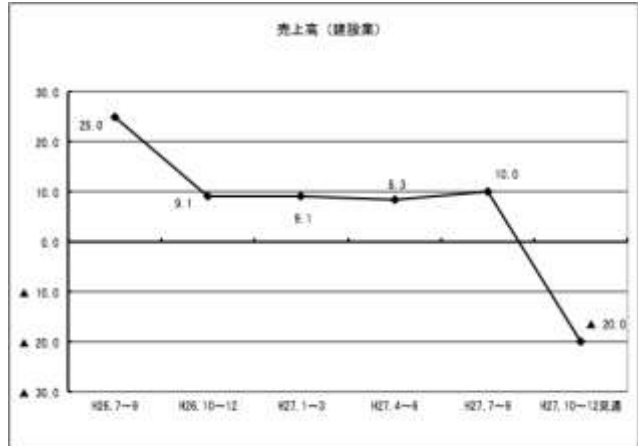
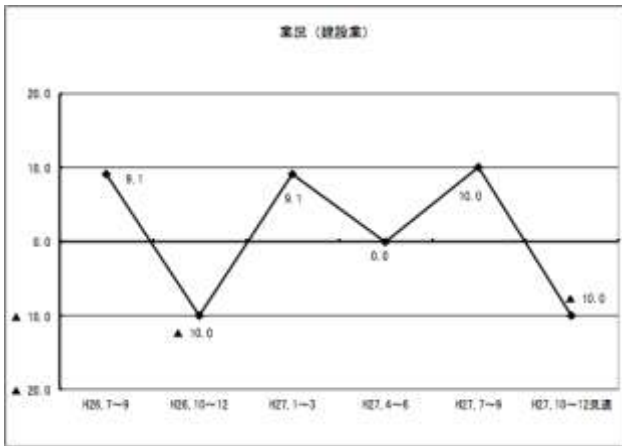
## 建設業

建設業の業況DIは10.0であり前回調査より10.0ポイント上昇した。過去1年間は10.0～▲10.0の範囲で推移しており今回もその範囲内であった。10月～12月期見通しも▲10.0で過去1年と同様の範囲での動きが見通されている。

売上高DIは10.0で前回調査より1.7ポイント上昇した。1年前の25.0から9.1、9.1、8.3、10.0とほとんど1年間大きな動きがなかった。その意味では安定していたと言える。しかし、10月～12月期の見通しは▲20.0とマイナス領域に低下しており、安定的な売上が崩れる見通しになっている。

採算DIは11.1と前回調査より19.4ポイント上昇した。採算の数値は上昇と低下を調査ごとに繰り返しており、今回は上昇の順であったのでその通りの動きである。10月～12月期見通しは▲10.0で見通しを見ると低下の順の通りになっている。

資金繰りDIは10.0で前回調査より10.0ポイント上昇した。資金繰りは過去から動きが少ない安定した指標であり、今回調査もその範囲内であると言える。10月～12月期見通しも▲10.0で数値自体はマイナスであるが、過去からの変動の範囲内で安定していると考えられる。



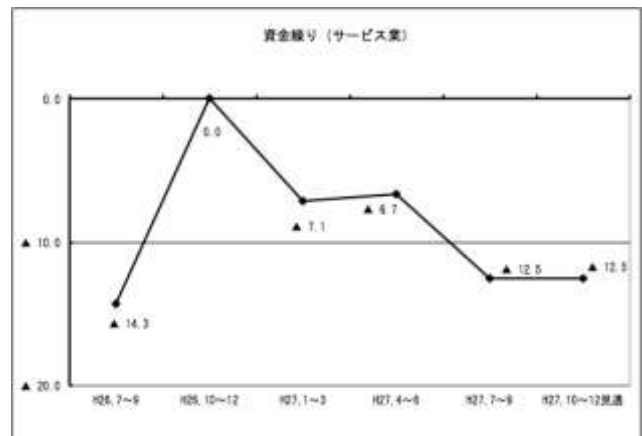
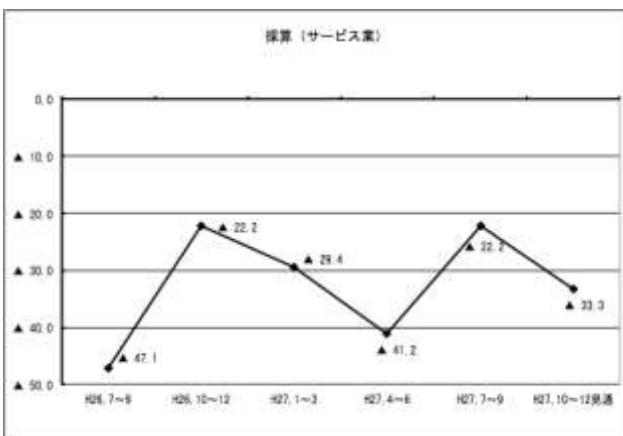
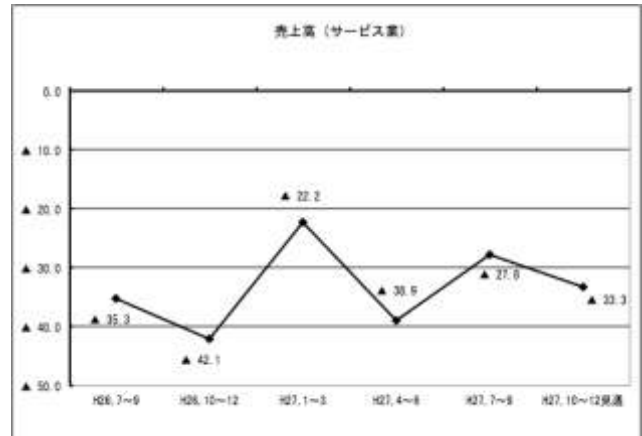
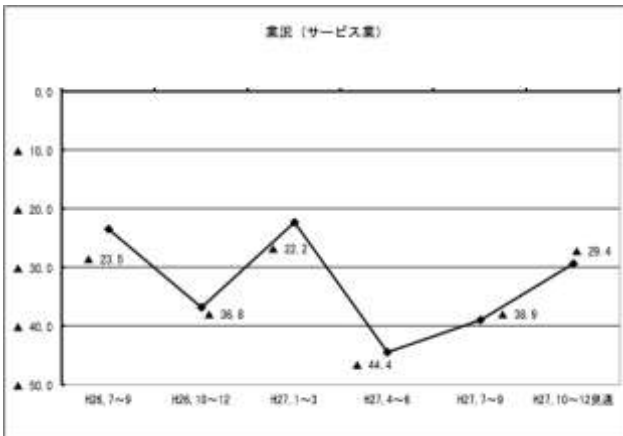
## サービス業

サービス業の業況DIは▲38.9で前回調査より5.5ポイント上昇した。サービス業の業況DIは過去1年間でプラス領域に入ることなく、▲20を超えることもなく推移している。今回調査では5.5ポイント上昇しているが、やはりマイナス領域であり、長期の低迷傾向から抜け出せていない。10月～12月期見通しも▲29.4でやはり同じである。ただ、今回調査と10月～12月期見通しを合わせると2四半期連続で上昇であるので、この動きが継続することが望まれる。

売上高DIは▲27.8で前回調査より11.1ポイント上昇した。売上高も業況と同じく、▲20を上回れない1年間であった。10月～12月期見通しも▲33.3で低迷傾向は依然続きそうである。

採算DIは▲22.2で前回調査より19.0ポイント上昇した。過去1年間では最も高い数値であるが、それでも▲22.0で業況、売上高とともに低迷傾向を表している。10月～12月期見通しも▲33.3なので傾向は変わっていない。

資金繰りDIは▲12.5で前回調査より▲5.8ポイント低下した。3四半期連続のマイナス領域である。売上高と採算が低迷傾向で資金繰りにも影響が出てきつつあるのかもしれない。10月～12月期見通しも▲12.5で資金繰りへの影響が懸念される。





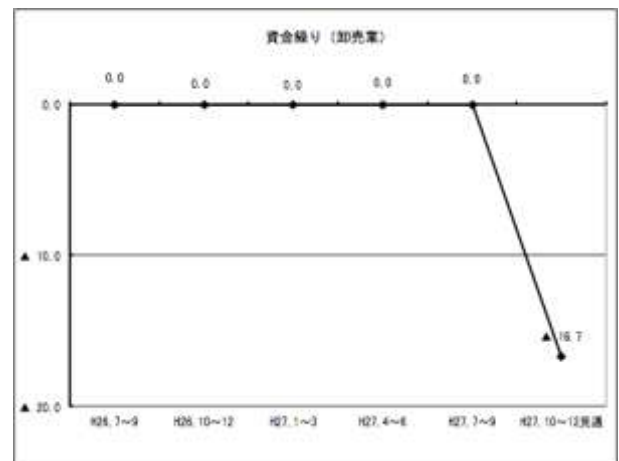
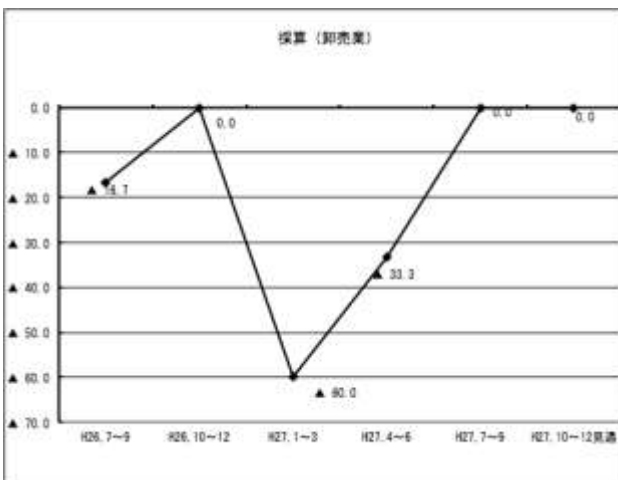
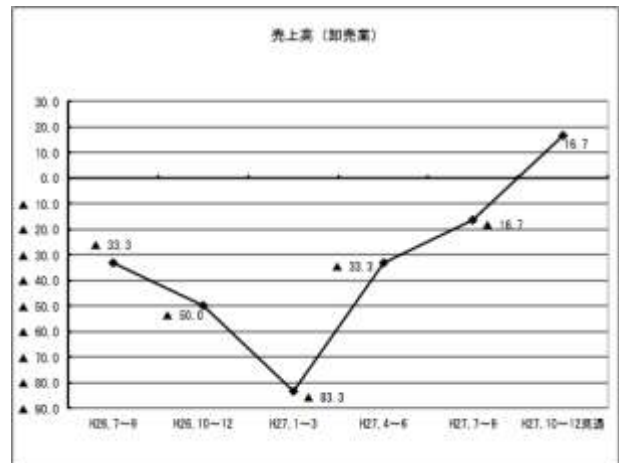
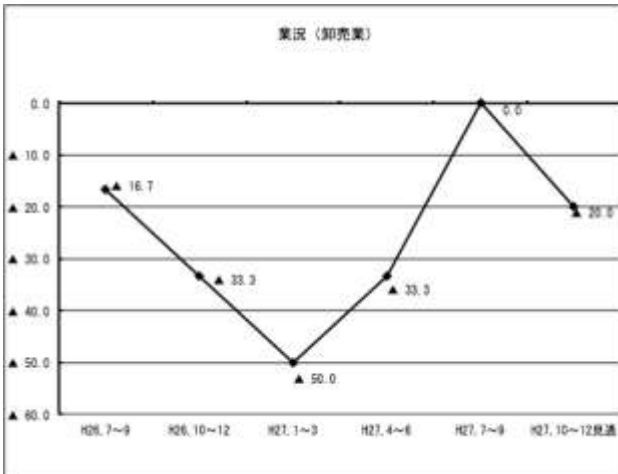
## 卸売業

卸売業の業況DIは0.0となり前回調査に比べて33.3ポイントの上昇である。卸売業の業況が0.0になったのは1年以上ぶりである。2四半期連続の上昇で、▲50.0であった平成27年1月～3月期から半年で50.0ポイント上昇したことは、業況が一気に回復していることを示していると考えられる。しかし、10月～12月期見通しは▲20.0となっているので、注意が必要である。

売上高DIは▲16.7で前回調査より16.6ポイント上昇した。売上高も平成27年1月～3月期が▲83.3と極端な低数値であったのが半年で大きく回復している。10月～12月見通しでは16.7とプラスの領域まで上昇しているので売上高は好調に推移しているようである。

採算DIは0.0と前回調査より33.3ポイント上昇した。これも業況、売上高と同じ動きをしており、平成27年1月～3月期に▲60.0であったのが半年で0.0まで上昇している。10月～12月期見通しは0.0で上昇はないものの低下はしていない。

資金繰りDIは0.0で5四半期連続で0.0であった。その点を見れば資金繰りは安定しているものと考えられる。10月～12月期見通しは▲16.7とマイナス領域になっているので、この先の資金繰りには少し不安が出そうである。



## DI 指数一覧表

	昨年の同期との比較					
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	7月～9月 期動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し
全 体	▲ 13.8	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 10.2	▲ 15.8	▲ 16.9
小売業	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 15.4
製造業	0.0	▲ 10.0	▲ 16.7	41.7	▲ 9.1	▲ 8.3
建設業	10.0	▲ 10.0	10.0	▲ 20.0	11.1	▲ 10.0
サービス業	▲ 38.9	▲ 29.4	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 33.3
卸売業	0.0	▲ 20.0	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0

	該当期について				昨年の同期との比較	
	採算（経常利益）水準		取引の問い合わせ		従業員	
	7月～9月 期動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し
全 体	18.6	16.9	▲ 10.5	▲ 28.1	5.4	3.6
小売業	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2
製造業	33.3	58.3	16.7	8.3	33.3	25.0
建設業	30.0	10.0	▲ 10.0	▲ 20.0	0.0	10.0
サービス業	11.1	0.0	▲ 27.8	▲ 44.4	0.0	▲ 6.3
卸売業	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7

	3カ月前との比較					
	資金繰り		長期借入れ難易度		短期借入れ難易度	
	7月～9月 期動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し	7月～9月期 動向	10～12月 期見通し
全 体	▲ 1.9	▲ 5.7	2.3	▲ 5.0	4.7	▲ 5.0
小売業	▲ 8.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7
製造業	10.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	10.0	▲ 10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	▲ 12.5	▲ 12.5	7.1	0.0	14.3	0.0
卸売業	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7

## 過去からの動向

